

アーキテチャー入門【オンラインライブ】 (4124299)

アーキテチャーはシステムの骨格の静的・動的なモデルです。構想・計画段階で一つ一つのシステムに対して作成し、アプリケーションと基盤を含む構築・運用の基礎とします。複雑度の増す現在のシステムにおいて、その重要性は増えこそすれ減ることはありません。個別システムのアーキテチャーの基礎と作成方法を学びます。

| | |
|----------|---|
| 開催日時 | 2025年3月25日(火) 9:00-16:00ライブ配信 |
| カテゴリ | IS導入(構築)・IS保守 専門スキル |
| DXリテラシー | What(DXで活用されるデータ・技術): デジタル技術 |
| 講師 | 天羽正道 氏 (フリーランスITアーキテクト) 元日本アイ・ビー・エム株式会社エグゼクティブアーキテクト チーフアーキテクトとして様々な環境でのビジネス・アプリケーションの開発をリード。現在、アーキテチャ策定支援などに従事。 |
| 参加費 | J U A S 会員/ITC: 35,200円 一般: 45,100円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】 |
| 会場 | オンライン配信 (指定会場はありません) |
| 対象 | ◆対象: ・プロジェクトの構想、計画においてシステムの全体像を明確にする仕事に携わる方 ◆前提条件: ・アプリケーションの設計・開発の経験3年程度 ・もしくはインフラの設計・導入の経験3年程度 初級 |
| 開催形式 | 講義、グループ演習 |
| 定員 | 25名 |
| 取得ポイント | ※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント) |
| ITCA認定時間 | 6 |

主な内容

■受講形態

ライブ配信 (Zoomミーティング) [【セミナーのオンライン受講について】](#)

■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

■開催日までの課題事項

特になし

アーキテチャーはシステムの骨格の静的・動的なモデルです。

構想・計画段階で一つ一つのシステムに対して作成し、アプリケーションと基盤を含む構築・運用の基礎とします。

複雑度の増す現在のシステムにおいて、その重要性は増えこそすれ減ることはありません。

本セミナーでは個別システムのアーキテチャーの基礎と作成方法を学びます。

◆特長◆

- ・アーキテチャーの基礎知識を得ることができます。
- ・ワークショップを通じて基本的なアーキテチャーを作成できるようになります。

◆概要◆

- ・アーキテチャーの定義と重要性
- ・アーキテチャー・モデルの作り方
- ・アーキテチャー・モデルを作るワークショップ

◆参加者の声◆

- ・開発の全体像を理解する、もしくは伝えるうえで有用な手法を学べた。
- ・アーキテクトのノウハウや必要な能力、モデルの作り方などを学ぶことができた。
- ・基本的なアーキテチャ設計手法だけでなく最新の技術動向も学べて参考になった。

◆セミナー内容◆

- 1 アーキテクチャーとは
 - ・ アーキテクチャーとは
 - ・ アーキテクチャーの価値と重要性
 - ・ アーキテクチャーの文書
- 2 アーキテクチャー作成の概要
 - ・ 全体の流れ
 - ・ インプット
- 3 基礎モデルの作り方
 - ・ 概観図
 - ・ 範囲図
 - ・ データ図
- 4 機能モデルの作り方
 - ・ 機能モデルとは
 - ・ 構造図
 - ・ 振舞図
- 5 実現モデルの作り方
 - ・ 実現モデルとは
 - ・ 非機能要件
 - ・ 実現方法
 - ・ アーキテクチャー決定
 - ・ アプリケーションの実現
 - ・ 運用品質の実現
 - ・ 配置図
- 6 アーキテクトのノウハウ
 - ・ パレートの法則
 - ・ 関心分離
 - ・ 仮説駆動
 - ・ リスク駆動
 - ・ 典型アーキテクチャー
 - ・ 凝集度・結合度